

# TOSHIBA

## プラズマ空清ユニット 取扱説明書

形名 TCB-EAP904U、EAP1604U

保管用

日本国内専用品  
Use only in Japan



EB29685601-2

お客様へ  
この説明書は必ず保管してください。  
ご使用前にこの「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、  
正しくお使いください。

### 安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損傷を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

#### 表示の説明



**警告**

“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容”を示します。



**注意**

“取扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定される内容”を示します。

- \* 1: 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- \* 2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- \* 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

#### 図記号の説明



○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

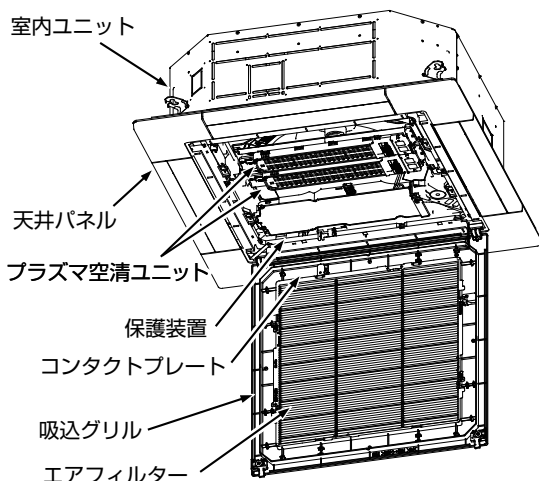
### 警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する  
ご自分で取付工事をされると、水もれや感電・火災の原因になります。
- メンテナンス・清掃・点検は、販売店または専門業者に依頼する  
お客様ご自身の作業は、火災・感電の原因になります。
- メンテナンス・清掃・点検するときは、電源ブレーカを切る  
感電の原因になります。
- 運転中は電気部品に手を触れない  
感電の原因になります。
- 水をかけない  
感電・漏電・火災の原因になります。
- 火気を近づけたり、スプレーなどの可燃物質を吹きかけない  
火災の原因になります。
- 集じん部を洗浄・点検したあとは、確実に固定する  
確実に固定しないと集塵ユニットが落下して、けがの原因になります。
- 定期的に点検・メンテナンスを行う  
長期間清掃および洗浄を行わないと、集塵性能が低下するとともに火災や故障の原因になります。
- 自分で分解・改造・修理・移設を行わない  
感電・火災または製品の落下によるけがの原因になります。  
点検・修理・移設は、販売店または専門業者に依頼してください。
- 点検・メンテナンス時は、不安定な台に乗らない  
転倒によるけがの原因になります。
- 針金や棒などの異物を挿入しない  
感電・火災の原因になります。

### 注意

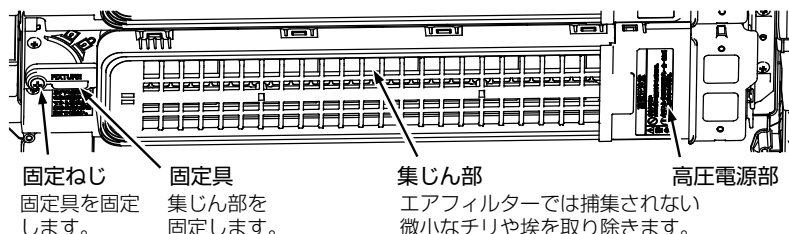
- 集じん部を水洗いしたあとは、水気をふき取って陰干しする  
水気が残っていると感電の原因になることがあります。
- エアフィルターを取り付けてから運転する  
エアフィルターを取り付けずに運転すると、故障の原因となります。

### 各部の名前とはたらき



※TCB-EAP1604Uを取り付けた状態

#### プラズマ空清ユニット



固定ねじ  
固定具を固定  
します。

固定具  
集じん部を  
固定します。

集じん部  
エアフィルターでは捕集されない  
微小なチリや埃を取り除きます。

### 運転をする前に

集じん部が確実に取り付けられ、固定具が固定位置にあることを確認してください。

### 運転のしかた

吸込グリルを閉めたあと、エアコンの運転をしてください。プラズマ空清ユニットはエアコンの室内ユニットの運転と連動します。  
エアコンの運転方法は室内ユニットの取扱説明書を参照してください。

### お手入れのしかた



**警告**

- お手入れの際は、必ず電源ブレーカを切る  
感電の原因になることがあります。



**注意**

- お手入れの際は、手袋を着用する  
着用しないと部品などにより、けがをする原因となります。



プラズマ空清ユニットは、室内のタバコの煙やホコリを集じん部で捕集します。一定期間使用したら必ず、集じん部の清掃および洗浄を行ってください。

### お手入れ時期のめやす

リモコンの表示部に「フィルター」の表示が点灯、または「フィルターお手入れ」のメッセージが表示されますので、お手入れを実施してください。（室内ユニットが約2,500時間運転すると表示されます。）  
ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、エアフィルターのメンテナンスと同時にお手入れを実施してください。

### お願い

食塩水や各種洗剤の微粒子などを吸い込む可能性のある場所や塩害地区などに設置すると、プラズマ空清に導電性イオンが付着し、冷房時や高湿度時に空清を保護停止する場合があります。空清以外の空調機の運転への影響はありませんが、集塵部を洗浄しても繰り返し点検コードF28が表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## お手入れの内容

1. エアフィルターのメンテナンス（室内ユニットの取扱説明書に記載の内容に従って実施してください。）
2. 集じん部の清掃および洗浄（本紙に記載の内容に従って実施してください。）

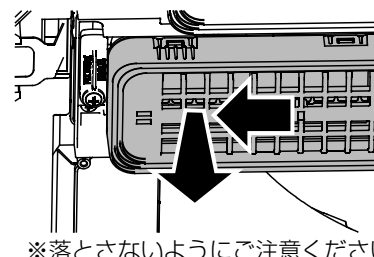
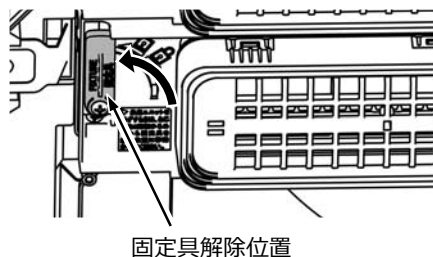
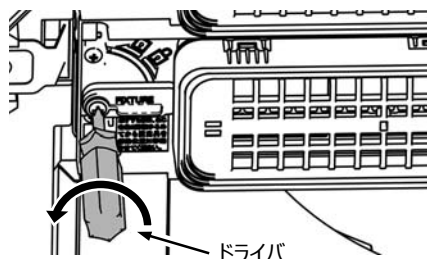
## お手入れの前に

1. リモコンにあるフィルターリセットスイッチを押す、またはメニューからフィルターリセット操作を行い、表示をリセットしてください。
2. 電源ブレーカを切ってください。

## 集じん部の清掃および洗浄のしかた

### 1. 集じん部をはずす

1. 固定ねじを約 2 回転ゆるめます。  
（固定ねじをはずさないでください。）
2. 固定具を左に 90 度回転させて解除位置にします。
3. 集じん部を固定具側にスライドさせるとはずれます。

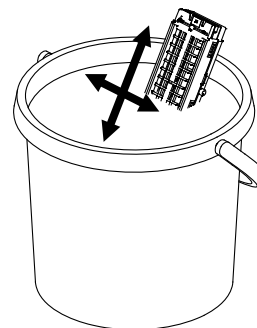


### 2. 洗って乾かす

#### [準備するもの]

- 集じん部全体が入る容器（バケツ・たらいなど）
- 洗浄液：40～45℃のお湯（集じん器全体が浸かる量）  
※汚れがひどいときは、洗濯用合成洗剤（弱アルカリ性または中性）を標準使用濃度の 10～15 倍に薄めてお使いください。  
「漂白剤」と表示されたものは使用しないでください。

1. 容器に洗浄液を入れ、集じん部を 10～15 分浸け置きします。
2. 浸け置き後に洗浄液内で集じん部を上下・左右にゆすります。  
樹脂部分の表面をスポンジで軽くこすってください。  
（たわしなどは使用しないでください。金属部分はこすらないでください。）
3. 流水ですすいでください。（高水圧での洗浄は行わないでください。）  
※ 1 度で汚れが落ちないときは、1～3 を何度か繰り返してください。
4. よく振って水を切り、水気をふき取ってください。  
（高圧空気などの吹き付けは行わないでください。）
5. 日陰でよく乾かしてください。  
（熱風で乾かさないでください。熱で変形します。）



#### お願い

- 分解しないでください。
- 金属部分が変形しないように注意してください。  
（性能が低下します。）

### 3. 集じん部を取り付ける

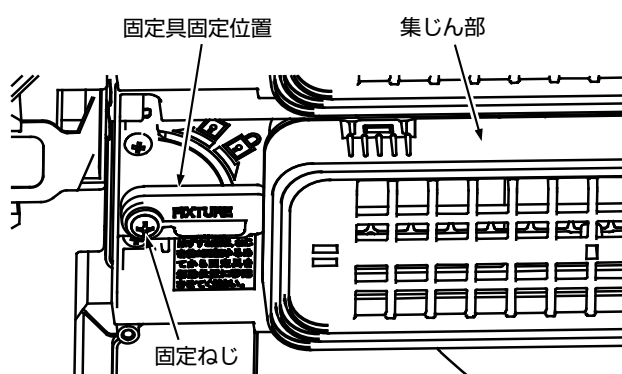
1. はずしかたと逆の手順で集じん部を取り付けます。
2. 固定具を右に 90 度回転させて固定位置にします。
3. 固定ねじを締め付けてください。

## 試運転

1. メンテナンス後のエアフィルターを吸込グリルに取り付けます。
2. 電源ブレーカを入れてください。
3. 吸込グリルを閉めます。
4. 室内ユニットに付属の据付説明書を参照し、**試運転モード**で 20 分以上運転してください。  
※ 十分に乾いていない場合や洗浄が不十分な場合、エラー表示が出ることがあります。
5. エラー表示が無いことを確認してください。

#### [空清関係のエラー表示について]

エラー内容	ワイヤードリモコン 表示内容	ワイヤレスリモコン受信部ランプ		
		運転「緑」	タイマー「緑」	準備中「橙」
空清ユニット異常	F28	交互点滅	交互点滅	点灯
空清保護装置動作中	P06	交互点滅	消灯	交互点滅



#### お知らせ

吸込グリルを開けると保護装置が働き、プラズマ空清を停止します。  
吸込グリルを脱着した際は、コンタクトプレートと保護装置の位置が一致するように、吸込グリルの向きに注意してください。

このプラズマ空清ユニットの保証期間は、室外ユニットに付属の保証書をご確認ください。